

政策提案書

令和元年7月26日

生駒市長様

提案者

住所

氏名

電話番号

佐村 佐栄子

下記のとおり、生駒市市民政策提案制度実施要綱により提案します。

記

提案の名称

0歳からの足育講座 ～生駒の子ども達の健やかな成長発達は足育から～

提案の目的・理由

子どもの足のトラブル（扁平足・浮指・変形等）が増えていることはあまり知られていませんが、運動能力の低下、集中力の低下、咀嚼力の低下など現代の子ども達の成長発達の問題にも足が大きく影響しているといわれています。

本市でも学校教育において児童の運動能力や学習能力の向上のため努力をされていますが、身体的にも神経系の成長がもっとも著しい0～6歳期に土台作りをすることでより有効であると考えます。この時期にしっかり歩くこと、身体を動かし遊ぶことが重要ですが、今の生駒では多くの保護者が車、自転車、ベビーカーでの移動をすることがほとんどで、子どもを歩かせて移動をすることが少ないのが現状です。このことが足のトラブルを発生させている原因であることを市民、特に育児中の母親に伝える事は、離乳食講座やしつけの講座などと同じように重要な事です。

ハイハイの重要性、遊びや生活の中で足が育つこと、良い靴の選び方・履き方など、専門家の知識をふまえた情報を早期から保護者へ伝えることで、早い段階で足トラブルを未然に防ぎ、足を健やかに成長させ、生駒の子ども達の能力がさらに伸ばせるよう定期的かつ継続的な講座の実施が必要だと考えます。

また、現代の保護者のニーズに合わせ多種多様な講座を行う事は生駒らしい魅力に繋がり、子育て世代の満足度の向上、「子育てしやすいまち生駒」の新たなコンテンツになると考えます。

生駒の子ども達の未来のため、そして市民全ての方の知識向上と健康のために講座開催を提案いたします。

提案の内容（具体的に記入）

①支援センターで開催されている【子育て支援・子育てについて学ぶ講座】の一環として、
「0歳からの足育講座」を毎月開催

0歳の赤ちゃんから未就園児の保護者を対象とし、60分程度の講座を行う。

足指を使ったハイハイのすすめ、歩くまでの成長を急がず成長段階が大切であること、子どもの動きを妨げてしまわないことなど、お家での育児で気を付けたいことを学んでもらう。

子どもの足のトラブルの実例と原因、成長への影響、正しい靴の選び方、履き方など、あんよが始まるまでに知ってほしいこと、小学校入学までに気を付けてほしい事を紹介し、早い時期に親子で足への関心を高めてもらう。お子様同伴可。

講座は日本足育プロジェクト協会認定足育アドバイザー[®]が担当する。

②講座参加者への「足育手帳」の配布

日本足育プロジェクト協会（奈良県大和郡山市）が発行している「足育手帳」を使うことで講座内容も分かりやすく、講座後も復習でき、成長記録の記入を継続することで足育の意識をずっと持つことが期待できる。

単独の講座が望ましいが、現行開催されている講座に付随して開催することも可能。

予想される効果

①正しい知識を持つことで不安を取り除き、足への関心を持ち、大人も子どもも歩くことや運動することに積極的に取り組むようになり、体力向上が期待される。

②子どもの足トラブルを未然に防ぐことで、子ども達の成長発達の様々な問題が軽減されることが期待される。

③生活の中で長時間履く靴こそが足への影響が大きいという事を認識し、成長後も園や学校での上靴や運動靴の選び方も慎重になり、子ども達の成長が良い方向へ促されていく。

④子どもだけでなく、保護者自身や家族みんなの足の大切さを意識し、市民全体の健康向上につながることを目指す。

実施に要する費用（※費用の算定が困難な場合は空欄でも結構です。）

足育手帳 1冊300円（参加者負担も可能）

足育アドバイザー[®]講師料 10,000円/1回

（参加費500円×定員20名とすることで市の負担なしでの開催可能）